

令和2年度 スクールプラン 鯖江市進徳小学校

学校教育目標 生きる力のある子どもの育成 =志教育の推進=

ふるさとに誇りをもち、将来への夢を胸に、自分の学びを世のため・人のために尽くす高い志をもった子どもの育成

めざす児童像

かがやけ進徳っ子 元気いっぱい 夢いっぱい
 (しん) 真剣に学ぶ (智)
 (と) 友達と仲良し (徳)
 (く) くじけない心と体 (体)

めざす学校像 今日が楽しく、明日が待たれる学校

重点目標

めざす教師像

- ・子どもの個性を尊重し、信頼される教師
- ・学び続け、チャレンジし続ける教師
- ・「チーム進徳」として協働体制を確立した教師集団

確かな学力の向上

- ・基礎基本の定着と読解力、表現力の育成
- ・「引き出す教育」「楽しむ教育」の実践
- ・分かる授業、楽しい授業の工夫

豊かな心の育成

- ・規範意識の育成
- ・自己肯定感の育成
- ・認め合い思いやりのある集団づくり

たくましい体の育成

- ・体育授業の充実と基礎体力の向上
- ・健康教育と食育の推進
- ・家庭と協力した望ましい生活習慣の確立

信頼される学校づくり

- ・家庭、地域と連携した学校づくり
- ・積極的な情報発信と学校公開
- ・安心安全な学校づくり

具体的取組

- ◎進徳スタンダードの徹底による学習基礎定着
- ◎漢字・計算テストによる基礎学力の定着
 - ・個に応じた指導の工夫と補充学習の推進
 - ・話し合い活動や発表活動の推進
- ◎授業のUD化により、分かる喜び、学ぶ楽しさを味わえる授業の推進（焦点化・視覚化・共有化）とICT機器の有効活用
- ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（課題・学習の流れ・振り返り）
- ・百人一首や詩の暗唱、NIEや読書活動の推進と読書習慣の定着
- ・主体的に取り組む家庭学習の習慣化
- ・一人一授業公開による授業力向上

具体的取組

- ◎自ら元気なあいさつ、場に応じたあいさつ習慣の徹底
- ・学級や学年などの集団生活をよりよく過ごすための規範意識の徹底
- ・教職員と児童が協働し、時間いっぱい無言清掃実施
- ・「ほめほめタイム」等、ほめる機会を増やし、自己肯定感を高めるポジティブ教育の推進
- ◎人権教育、道徳教育、縦割り班活動を充実し、思いやりの心、命を大切に作る心の育成
- ・学校公開日に道徳の授業を一人1回公開
- ◎毎月、児童アンケートの実施。定期的にいじめ対策会議を開催。共通理解のもと問題の早期発見、迅速対応、早期解決

具体的取組

- ◎ハッスルタイムの活動徹底、基礎体力の向上
- ◎めあてをもった体育学習や体育的活動の取組、「できた」「のびた」の喜びを味わわせ、運動好きの子を育成
- ◎生活チェックを通して「早寝・早起き・朝ごはん」、歯磨き等の望ましい生活習慣を育成
- ・養護教諭や栄養職員とのT.Tによる健康教育や食育の推進、感染症等の予防指導の徹底
- ・家庭と連携したノーテレビノーゲームデーの実施、SNSの正しい使い方の指導徹底
- ◎自転車乗車時のヘルメット着用義務化推進

具体的取組

- ◎HPやメール、文書で積極的に情報発信し、家庭・地域と学校との協力体制を強化
- ◎児童へ地域行事への積極的な参加呼びかけ
- ◎進徳スマートルールの活用とネット利用のマナーや情報モラル教育、啓発活動の推進
- ・スタート接続カリキュラムによる保幼小連携、ハートフルプロジェクトによる小中連携の推進
- ◎地域と協働し、伝統文化や郷土を愛する心を継承するふるさと教育の実践

- ・授業がよく分かったと答える児童 90%以上
- ・漢字・計算テストで90点以上の児童 80%以上
- ・進徳スタンダードを守れた児童 90%以上

- ・学校が楽しいと答える児童 95%以上
- ・自分から元気なあいさつができた児童 90%以上
- ・思いやりをもって生活できた児童 80%以上
- ・いじめの早期解決 100%

- ・運動するのが好きと答える児童 85%以上
- ・望ましい生活習慣が実践できた児童 90%以上
- ・進徳スマートルールを守れた児童 80%以上
- ・ヘルメット着用で自転車乗車児童 100%

- ・地域行事に参加した児童 80%以上
- ・学校の活動や取組を十分に把握できた保護者 90%以上
- ・進徳スマートルールの遵守を心がけた保護者 80%以上
- ・学校教育に対する保護者満足度 90%以上

<業務改善のための取組>

- ・週1回ノー残業デー（午後6時退勤）実施
- ・学校行事やPTA行事の見直し（簡素化・簡略化・精選）
- ・会議運営方法見直し、会議時間短縮、文書事務の効率化
- ・C4thや校務支援システムを活用した業務効率化（職員朝礼廃止、週案簿の管理）
- ・働き方改革を意識した業務改善、超過勤務時間を前年度より削減達成教員 100%